

# エネルギーの安定供給が私たちの使命です

AOCホールディングス株式会社と富士石油株式会社は、  
本年10月1日に合併し、新生・富士石油として  
新たな一步を踏み出しました。



袖ヶ浦製油所全景



富士石油株式会社

代表取締役社長 関屋文雄

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

## 石油会社による成長産業への取り組み



次の100年、  
人間には何ができるのか。

世の中のために何かを成し遂げることこそ、  
生きることである。  
創業者、出光佐三はそう考えていました。  
それは、和の精神・互謙互助の精神を大切にし、  
自分たちの利益ばかりを追求するのではなく、  
世のため人のために事を成す、という  
日本人が古くから美徳としてきた考え方そのものでした。  
  
出光が創業した1911年から、  
人類をとりまく環境や社会は大きく変化しました。  
これから先、人と地球がともに生き生きと  
暮らしていく世界をつくるために、  
私たちが取り組まなければならない課題は  
簡単に解決できるものではありません。  
いま改めて創業者の考え方  
立ち戻ることで見えてきたこと。  
それは、経営の原点でもある  
和の精神・互謙互助の精神といった日本人の美徳が、  
世の中をよい方向へと導くヒントに  
なるかもしないということです。  
出光は、その日本人が大切にしてきた美徳を  
これからの世界に活かし、次世代の社会づくりに  
貢献する企業を目指してまいります。

出光



石  
油

# 有効活用・高度利用へ



製油所の有効活用がカギとなる

石油業界では省エネ化  
による製油所の効率化活動を積極化している。地  
球温暖化対策のため、

「2010年度以降の対  
策により、20年度で原油  
換算53万キロルの省エネ対  
策を達成することを

次世代のエネルギー供給システムの構築を考える上で、石油をはじめ化燃料の有効活用や高度利用をいかに推進していくかは引き続き重要なカギとなる。石油産業は国内燃料油需要の減少で量から質へと転換が進む。それとともに米国でのシェールガス・オイルの生産拡大なども見据え、安定供給のためのエネルギーセキュリティの強化が必要となっている。

## 廃熱・廃ガス活用省エネ化

でに業界では「低炭素社会実行計画」を策定。製油所の省エネ目標として

「2010年度以降の対  
策により、20年度で原油  
換算53万キロルの省エネ対  
策を達成することを

掲げている。

昨今の原油価格高騰の中で省エネ活動の善し  
いは業績に反映され、企  
業間の競争力も左右す  
る。各社においてはエネ  
ルギーベンチマークを重  
視した省エネ活動の推  
進、年平均1%以上の工  
ネルギー消費原単位削減  
など具体的な目標を掲  
げ、効率化活動を急ぐ。  
省エネの実現には「程  
度最大限活用するための熱  
エネルギーを

交換器や廃熱回収ポイ  
の導入計画が進んでい  
る。

このほか、既存設備の  
変更で大幅な省エネを実  
現する企業など、省エネ  
度の拡大に向けて取り  
組みが続いている。

このほか、既存設備の  
変更で大幅な省エネを実  
現する企業など、省エネ  
度の拡大に向けて取り  
組みが続いている。